

AIが変える医学の未来

ミライ

人工知能と診断の交差点

会場 グランフロント大阪ナレッジキャピタル・ナレッジシアター(北館4階)



共催 文部科学省 新学術領域研究 学術研究支援基盤形成「先端バイオイメージング支援プラットフォーム」
 主催 文部科学省 新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 生命科学連携推進協議会
 後援 大阪大学 21世紀懐徳堂

2018.12.2 日 13:00-16:00 (開場・受付 12:30)

定員 150名 (事前申込制)
 入場無料

参加登録 <http://ethpol.org/seminar/20181202/>

お問合せ 大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学 email: symposium@eth.med.osaka-u.ac.jp



AI 変える医学の未来 - 人工知能と診断の交差点

いま、新しい診断のかたちが模索されています。100年後の医学は、私たちが知るものとは、まったく違っているかも知れません。

近年、新しい診断の方法として、人工知能 (AI) に注目が集まっています。人工知能は、人間には不可能なほどの大量の情報を短時間で処理でき、見落としや誤診のリスクを減らせると期待されているためです。最先端の医学研究では日々研究が進められており、人工知能による診断が身近なものになるのも、時間の問題なのかも知れません。

人工知能による診断にはどのような可能性があり、それが浸透したとき私たちの社会にはどのような影響が生じるのでしょうか。今回のシンポジウムでは、最先端の医学研究者を招き、こうした問題を市民の皆様と一緒に考えていきます。

— 私たちの「未来」について、あなたの声を聞かせてください。

プログラム

- 13:00 開会の挨拶 今井 浩三
- 13:10 講演①「AI が照らす内視鏡診療の未来」 石原 立
- 13:40 講演②「生物医学画像の情報処理、AI 技術の展望」 木森 義隆
- 14:10 講演③「ゲノムと人工知能が導く新たながん医療」 古川 洋一
- 14:50 指定発言 青野 由利 + パネルディスカッション
- 15:50 閉会の挨拶 加藤 和人

スピーカー



石原 立
(いしはら・りゅう)
大阪国際がんセンター
消化管内科



木森 義隆
(きもり・よしたか)
福井工業大学
環境情報学部



古川 洋一
(ふるかわ・よういち)
東京大学医科学研究所
臨床ゲノム腫瘍学分野



青野 由利
(あおの・ゆり)
毎日新聞論説室専門編集委員

参加登録

ご参加希望の方は下記ページのフォームから参加登録をお願いします。

<http://ethpol.org/seminar/20181202/>

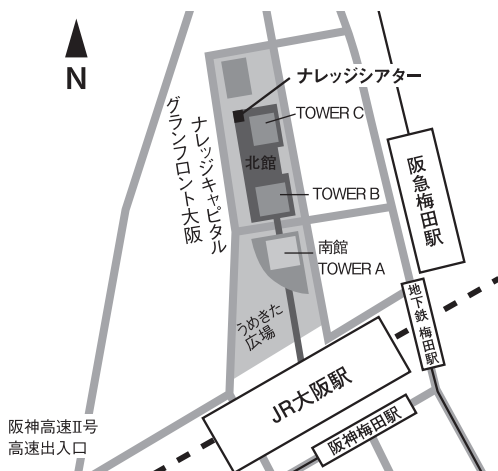


お問合せ

大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学
email: symposium@eth.med.osaka-u.ac.jp



日時 2018年12月2日(日) 13時—16時(開場:12時30分)
会場 グランフロント大阪ナレッジキャピタル・ナレッジシアター(北館4階)



アクセス

ナレッジキャピタル・ナレッジシアター

〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館4階

<http://www.congre-cc.jp/access/>

- ・ JR「大阪駅」(アトリウム広場)より徒歩 3 分
- ・ 地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩 3 分
- ・ 阪急電鉄「梅田駅」より徒歩 3 分

主催 | 文部科学省 新学術領域研究 学術研究支援基盤形成 生命科学連携推進協議会

共催 | 文部科学省 新学術領域研究 学術研究支援基盤形成「先端バイオイメージング支援・プラットフォーム」

後援 | 大阪大学21世紀懐徳堂